

本日、「輸送の安全に関する事業改善命令及び事業の適切かつ健全な運営に関する監督命令」をいただきました。

平成23年5月の石勝線列車脱線火災事故から2度目となる事業改善命令及びJR会社法としては初めての監督命令を受けることとなり、当社には輸送の安全確保が至上命題である鉄道事業者としての基本的な資質を一から問われている状況にあるものと認識し、大変重大なことであると受け止め、深く反省しております。

あらためて、お客様、地域の皆様、関係機関の皆様に大変なご迷惑とご心配をおかけしておりますことを、深くお詫び申し上げます。

今後に向けては、まず、日々の輸送の安全確保に全社を挙げて全力で取り組みとともに、お客様の安全を最優先とする企業体質、組織文化を構築しつつ、安全な輸送を行うための徹底的な再生に向けた第一歩として、これまでの改善指示及び今回の命令に示された鉄道事業者に求められる不可欠な安全対策を着実に講じて参ります。

輸送の安全を確立し、信頼される鉄道会社への再生に向けて、全社員が一丸となり危機意識とスピード感を持って改革を進めて参る所存です。

平成26年1月24日  
北海道旅客鉄道株式会社  
代表取締役社長 野島 誠